

平成 27 年度 神戸市下水道事業主要施策

1 西部処理場の再構築(北系整備・消化ガス発電)(平成 27 年度事業費 : 2,820 百万円)

【主要施策の概要(6 ページ)「2. 施設の効果的な活用(1) 西部下水処理場」】

(1) 目的

阪神淡路大震災の影響に加え、耐用年数を迎えて老朽化が進む西部処理場の改築更新を行い、市民生活に必要不可欠な下水処理機能を保持する。

また、消化ガス発電設備を設置し、消化ガス発電を行うことで、電気使用量の増加抑制やCO2排出量を削減するとともに資源の有効利用を図る。

(2) 事業内容

<北系整備>

昭和40年の供用開始から50年が経過する水処理施設の改築を順次行い、併せて高度処理の導入と耐震化を進める。

○工期：平成 26～32 年度 供用開始：平成 32 年度内(予定)

※平成 27 年度は、流入する下水を揚水するポンプ施設及び水処理施設の土木工事に着手

○総事業費：約 260 億円

<消化ガス発電>

汚泥処理の過程で発生する消化ガスを精製・燃焼させて発電を行い、処理場内電気設備に利用するほか、発電時に発生する熱を消化タンクの汚泥加温に利用する。

平成 27 年度は、消化ガス発電設備の設置を完了させ、平成 28 年度より消化ガス発電を開始する。

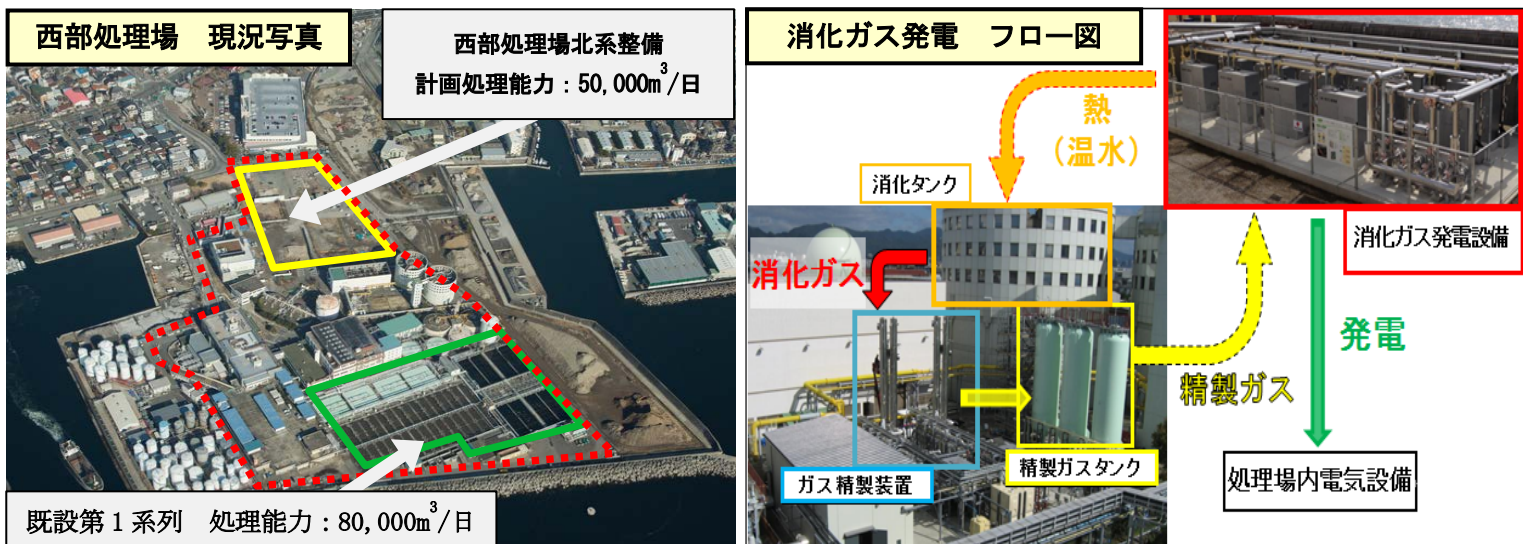
(3) 事業効果

<北系整備>

- ・計画的な改築更新により下水処理機能を健全に維持する
- ・改築更新にあわせて施設の耐震化・耐津波化を図り、災害時の安全度を高める
- ・高度処理の導入により、処理場の放流先である大阪湾の水質保全に資する

<消化ガス発電>

- ・発電電力量(見込み)：約 4,600MWh/年(一般家庭約 1,200 戸分の電力量)
- ・CO2排出削減量：約 2,400 t



2 魚崎ポンプ場改築更新事業について（平成 27 年度事業費：94 百万円）

【主要施策の概要（6 ページ）「2. 施設の効果的な活用（2）魚崎ポンプ場】

（1）目的

東灘処理場に隣接する魚崎ポンプ場は、魚崎地区など東灘区の低地盤地区を浸水から守っている重要な雨水ポンプ場である。

しかし、施設の老朽化が進行していることに加え、耐震性能も不足していることから、施設の改築更新を行い、雨水排除機能の強化を図る。

（2）事業内容

昭和 37 年の供用開始から 50 年以上が経過する雨水ポンプ場の改築更新を行う。

<全体事業>

○事業期間：平成 27～36 年度（第 1 期） 平成 37～44 年度（第 2 期）

○全体事業費：約 210 億円

○改築更新内容：用地の制約から原位置で既設ポンプ場の機能を段階的に切り替えながら、新たなポンプ場を建設

○平成 27 年度実施内容：改築実施設計

○発注方式：高度な技術を要する工事であるため、設計・施工一括発注方式（DB 方式）を導入

※設計・施工一括発注方式（DB 方式）とは・・・

⇒民間事業者が設計段階から参画することで、民間事業者の優れた技術力を活用できる発注方式

（3）事業効果

- ・計画的な改築更新により雨水排除機能を健全に維持し、快適で安全・安心な市民生活を実現する。
- ・改築更新にあわせて施設の耐震化・耐津波化を図り、災害時の安全度を高める。



3 西河原地区浸水対策事業について（平成 27 年度事業費：411 百万円）

【主要施策の概要（6 ページ）「1. 安全で安心な暮らしの実現（1）浸水対策①西河原地区」】

(1) 目的

西河原地区は、明石川と天上川に挟まれた低地盤地区であり、大雨による浸水被害がたびたび発生している。

また、同地区は「①農業用水路が雨水排水路としても利用されている②宅地化の進行により農地が減り、土地の保水能力が低下している③区画整理を行わずにミニ開発が行われているため、地区内の道路幅が狭い」といった特徴がある。

そのため、これらの状況を踏まえたうえで、雨水幹線や雨水ポンプ場の整備を行い、浸水による被害の解消を図る。

(2) 事業内容

西河原地区における大規模な浸水の原因は、主要な排水施設である農業用水路の流下能力不足であるため、明石川に放流できる雨水幹線の整備を行う。

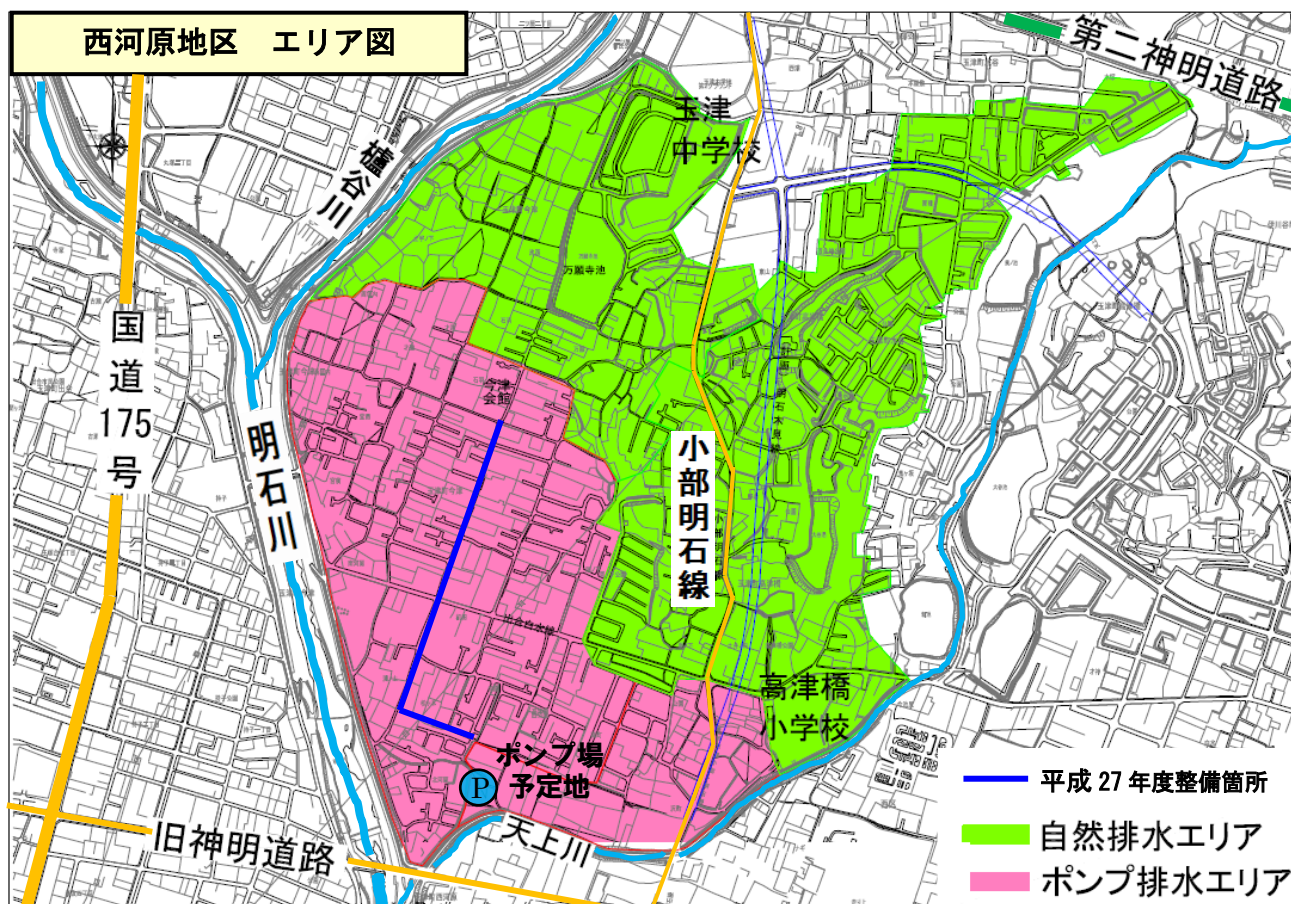
また、将来的には明石川河川整備において想定されている水位上昇が発生した場合でも浸水被害の発生を防ぐために、標高の高い北東側を自然排水エリア（下図・緑色部分）、標高の低い南西側をポンプ排水エリア（下図・赤色部分）に分け、雨水幹線の整備とともに雨水ポンプ場を整備する。

○事業期間：平成 13 年度～

○平成 27 年度実施内容：雨水幹線の整備（シールド工 φ2,000mm、L=700m）

(3) 事業効果

- ・整備区域における建物浸水及び道路冠水被害の軽減



平成27年度下水道事業会計予算の概要

(1) 業務量

区 分 項 目	平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
年間汚水処理量(百万m ³)	183.0	184.2	▲1.2	▲ 0.7
1日平均汚水処理量(万m ³)	50.0	50.5	▲0.5	▲ 0.9
年間汚水中継量(百万m ³)	26.0	25.9	0.1	0.3
年間雨水排除量(百万m ³)	15.8	14.7	1.1	7.6

※伸び率はm³単位で計算

(2) 財政規模 (税込額)

(単位:億円)

区 分 項 目	平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
収益的支出	366 (236.6)	378.6 (243.0)	▲12.6 (▲ 6.4)	▲ 3.3 (▲ 2.6)
資本的支出	271.4 (271.4)	263.2 (256.6)	8.2 (14.8)	3.1 (5.8)
合 計	637.4 (508.0)	641.8 (499.6)	▲4.4 (8.4)	▲ 0.7 (1.7)

※()は会計制度等変更の影響を除く。※伸び率は千円単位で計算

(3) 経営収支 (税抜額)

(単位:億円)

区 分 項 目	平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	対前年度予算		主な増減理由	
			差 引	伸び率(%)		
収 益	下水道使用料	192.0	192.5	▲0.5	▲ 0.2	有収水量の減 [注1]
	雨水処理補助金	43.2	37.4	5.8	15.5	
	長期前受金戻入	104.4	104.5	▲0.1	▲ 0.1	会計制度の変更により26年度より新たに計上
	その他収益	11.4	12.6	▲1.2	▲ 10.2	
	特別利益	1.0	1.0	0.0	0.0	一般会計補助金カット返還分1億円[注2]
	合 計 (A)	352.0 (221.9)	348.0 (219.6)	4.0 (2.3)	1.1 (1.0)	
費 用	維持管理費	93.7	92.0	1.7	1.8	
	人件費	25.6	24.4	1.2	4.6	
	物件費	68.1	67.6	0.5	0.8	電気代の増等
	資本費	259.4	257.9	1.5	0.6	
	減価償却費等	224.5	221.2	3.3	1.5	新規資産供用開始に伴う増
	支払利息	34.9	36.7	▲1.8	▲ 4.9	平均利率の減
	特別損失	4.2	20.1	▲15.9	▲ 79.1	H26 退職給付引当金等の計上
合 計 (B)	357.3 (227.9)	370.0 (234.4)	▲12.7 (▲ 6.5)	▲ 3.4 (▲ 2.8)		
当年度損益(A)-(B)=(C)	▲5.3 (▲ 6.0)	▲22.0 (▲ 14.8)	16.7 (8.8)	—		
前年度末累積損益(D)	822.8 (▲ 89.0)	▲74.2 (▲ 74.2)	897.0 (▲ 14.8)	—		
当年度末累積損益(C)+(D)	817.5 (▲ 95.0)	822.8 (▲ 89.0)	▲5.3 (▲ 6.0)	—	26年度末累積損益には利益剰余金振替額919.0億円を含む	

※()は会計制度等変更の影響を除く。※伸び率は千円単位で計算

[注1] 「下水道使用料」には、民間社会福祉施設等の減免に対する一般会計補助金を含む

[注2] 平成27年度末の残高見込みは41億円となっている(平成8~10年度カット額153億円)

(4) 資本的収支 (税込額)

(単位:億円)

項 目	区 分	平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率(%)
収 入	企 業 債	75.9	76.6	▲0.7	▲0.9
	国 庫 支 出 金	38.7	43.8	▲5.1	▲11.5
	他 会 計 繰 入 金	6.0	4.7	1.3	27.4
	財 産 収 入	(30.3)	(27.5)	(2.8)	(10.2)
	雑 収 入	0.2	0.2	0.0	▲25.0
	工 事 負 担 金	28.2	13.8	14.4	103.6
	そ の 他 収 入	28.2	13.8	14.4	103.7
	そ の 他 収 入	0.0	0.0	—	—
合 計 (A)	149.0	139.1	9.9	7.1	
	(173.3)	(161.9)	(11.4)	(7.0)	
支 出	建 設 改 良 費	162.8	169.2	▲6.4	▲3.8
	処 理 場 建 設 費	29.6	11.2	18.4	165.4
	ポ ン プ 場 建 設 費	3.3	30.9	▲27.6	▲89.4
	汚 水 幹 枝 線 布 設 費	49.0	44.9	4.1	9.1
	雨 水 幹 枝 線 布 設 費	37.1	31.7	5.4	17.1
	流 域 下 水 道 事 業 費	2.7	2.5	0.2	9.5
	処 理 施 設 等 整 備 費	41.1	48.0	▲6.9	▲14.5
		(41.1)	(41.3)	(▲0.2)	(▲0.5)
	基 金 へ の 積 立	20.3	9.6	10.7	111.3
	企 業 債 等 償 還 金	88.0	84.1	3.9	4.6
	予 備 費	0.3	0.3	0.0	—
合 計 (B)	271.4	263.2	8.2	3.1	
	(271.4)	(256.6)	(14.8)	(5.8)	
収支差引 (A) - (B)	▲122.4	▲124.1	1.7	—	
	(▲98.1)	(▲94.7)	(▲3.4)	—	

※()は会計制度等変更の影響を除く。※伸び率は千円単位で計算

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 122.4億円は、当年度損益勘定留保資金で補てんするものとする。

(5) 主要施策の概要(税込額)

(単位:百万円)

事 項	予算額	収益的収支	資本的収支	説 明
1. 安全で安心な暮らしの実現				
(1) 浸水対策	1,258	-	1,258	
① 西河原地区	411	-	411	・西河原地区浸水対策 (雨水幹線の整備等)
② その他の地区等	847	-	847	・雨水整備重点地区の整備 (長田南部地区等)
2. 施設の効果的な活用				
(1) 西部下水処理場 北系整備	2,820	-	2,820	・西部下水処理場北系水処理施設の築造工事
(2) 魚崎ポンプ場 改築更新	94	-	94	・魚崎ポンプ場の改築実施設計
(3) 施設の計画的な 改築更新	8,653	-	8,653	
① 管きよ	5,837		5,837	・汚水・雨水管きよの改築更新
② 処理場・ポンプ場	2,816		2,816	・処理場・ポンプ場施設及び設備の改築更新
3. 良好な環境の創造				
(1) 下水道資源の 有効活用	83	83	-	・こうべバイオガス事業の推進 ・こうべWエコ発電プロジェクト ・西部処理場消化ガス発電
4. 地域の活性化				
(1) 中部処理場跡地利用	360	-	360	・跡地を活用する事業者及び事業内容の公募
(2) 水インフラ支援による 国際展開	2	2	-	・地元企業等の海外展開の支援など